



### (1) Captains of Industry

Captains of Industryという語は、19世紀イギリスの歴史家・思想家トーマス・カーライルが著した『Past and Present』（邦題『過去と現在』）の第4編にある。カーライルは当時のイギリスにおける拝金主義を批判し、Captains of Industryとは「混沌、困窮、諸悪に対して戦い、人類を導く真の勇者」であるとしている。

### (2) ソーシャル・データサイエンス学部／研究科（大学院修士課程）

社会科学の視点からデータサイエンス領域の新たな教育研究分野を確立するため、2023年に開設された学部・研究科。新学部の設置は72年ぶり。入学定員は学部60人、大学院修士課程21人。「ビッグデータの時代」が到来した現代社会の諸課題を解決できる人材の育成を目指す。博士後期課程は2025年4月設置を構想中。

### (3) グローバル教育ポートフォリオ

一橋大学は学部生全員に、高い質を担保した海外留学、海外調査、語学研修等の機会を提供。全学生必修の「初年次英語スキル教育」に加え、「短期語学留学」「国内での語学集中研修」「短期海外留学（サマースクール）」「長期海外留学」「海外インターンシップ」「ゼミを中心とした海外調査・インターゼミ等」をグローバル教育ポートフォリオとして定め、必修科目+その他1つ以上の履修を卒業要件としている。

### (4) ゼミナールを核とする少数精鋭教育

ゼミナールは担当教員の指導のもとで特定のテーマについて発表や討論を行う、学生の自発的な参加を重視する授業形式。一橋大学は伝統的にゼミナールを教育の中心に据えており、平均7～8人の少人数で実施。現在も全学生が必修となっている。



グローバル社会における「Captains of Industry」の育成を目的に、各学部10～15人程度を選抜して実施される「グローバル・リーダーズ・プログラム（GLRP）」では、海外の大学との共修科目や留学を通じてアクティブ・ラーニングを重視。現実を踏まえた理論構築能力、優れたコミュニケーション能力、政策提言能力など、グローバルリーダーが備えるべき諸能力をもつ人材の養成を目指しています。特別な奨学金制度など、GLRPに選抜された学生向けの手厚い支援も魅力です。

こうしたグローバル教育やゼミナールを核とする少数精鋭教育で鍛えられた学生への企業・団体からの評価は非常に高く、23年度卒の就職率は95・9％。就職先の多くを大企業や優良企業が占める中で、就職率95％以上の高い就職実績を毎年保っています。

キャリア支援では、企業等で勤務経験がある国家資格を有するキャリアアドバイザーが1対1で個別相談に対応。志望業界や企業の選び方、面接などの選考試験対策、複数内定獲得時の対応など、学生の将来と一緒に考えるきめ細かな支援を行っています。23年度に学内で開催された企業・官庁の説明会やセミナーには、延べ約430社・団体が参加。将来に幅広い選択肢を持つための機会も豊富に用意されています。

産学官連携で課題解決に注力 研究成果の発信で社会に貢献 産学官連携も一橋大学の重要な使命の一つです。社会の課題への確に、イノベーション創出を目指すとともに、連携を通じた研究教育の基盤向上を図っています。16年には産業技術総合研究所との間で包括連携協定を締結。文理共創を通じた研究交流や人材育成が実現しています。本学研究者の企画で毎年開催される「一橋大学と社会をつなぐ講座シリーズ」一橋大学政策フォーラムで

トフォリオ<sup>①</sup>」を卒業要件として定め、海外調査や語学研修などを含む多彩な留学プログラムを展開。海外の大学の学年暦への柔軟な対応を可能にする4学期制の導入とあわせて、留学生を含めた学生の国際流動性の向上を図ることで、世界中の多様な価値観を持つ人々と接する機会を提供しています。

グローバル社会における「Captains of Industry」の育成を目的に、各学部10～15人程度を選抜して実施される「グローバル・リーダーズ・プログラム（GLRP）」では、海外の大学との共修科目や留学を通じてアクティブ・ラーニングを重視。現実を踏まえた理論構築能力、優れたコミュニケーション能力、政策提言能力など、グローバルリーダーが備えるべき諸能力をもつ人材の養成を目指しています。特別な奨学金制度など、GLRPに選抜された学生向けの手厚い支援も魅力です。

キャリア支援では、企業等で勤務経験がある国家資格を有するキャリアアドバイザーが1対1で個別相談に対応。志望業界や企業の選び方、面接などの選考試験対策、複数内定獲得時の対応など、学生の将来と一緒に考えるきめ細かな支援を行っています。23年度に学内で開催された企業・官庁の説明会やセミナーには、延べ約430社・団体が参加。将来に幅広い選択肢を持つための機会も豊富に用意されています。

は、各分野の第一人者や政策の最前線にいる方々との討論を通じて、研究成果を研ぎ澄まされた政策として発信。前年度は「リーガルイノベーション・テクノロジ」が変える社会と法<sup>②</sup>「日本の企業金融と資本市場の役割」ガバナンス改革とESGの推進に向けて<sup>③</sup>といったテーマで、現代の複雑で困難な諸課題の解決を目指しています。

国や自治体への政策提言も盛んです。社会科学高等研究院の地域・中小企業政策研究センター（HIASSME）は政府統計や各種アンケート調査など、中小企業に関するさまざまなマイクロデータを駆使した高度な実証研究を実施。研究成果を社会に向けて発信することで、地域振興政策を含む中小企業政策の評価・設計に貢献しています。



少人数で行われるゼミナール



なかのりつしよ  
中野 聡学長  
1983年一橋大学法学部国際関係課程卒業。90年同大学大学院社会学研究科地域社会研究専攻博士後期課程単位取得退学。社会学博士。専門はアメリカ史、米比関係史。神戸大学助教授、一橋大学教授、社会学研究科長、副学長などを経て2020年より現職。

一橋大学は1875（明治8）年、後の初代文部大臣である森有礼が渋沢栄一らの協力のもと創設した私設の商法講習所を起源とする大学です。密度の濃い少人数のゼミナール制度を中心に、教員と学生が学問を通じて互いに高め合う「卓越したコミュニティ」を形成することで、150年近い歴史の中でCaptains of Industry<sup>①</sup>、すなわち国際的に通用する産業界のリーダーたり得る人材を育成するとともに、社会科学の諸分野で最高水準の研究を展開してきました。伝統的に学部・研究科間の垣根が低く、所属外の科目を自由に履修できることも特色の一つです。

2019年には「我が国の人文社会科学分野において教育研究の卓越性を誇る大学」として「指定国立大学法人」に指定。23年には「ソーシャル・データサイエンス学部／研究科<sup>②</sup>」を設置するなど、社会科学のわが国屈指の総合大学として先導的な大学改革に挑んでいます。

# 一橋大学

〒186-8601 東京都国立市中2-1 入試課 TEL 042-580-8150 <https://juken.hit-u.ac.jp/>

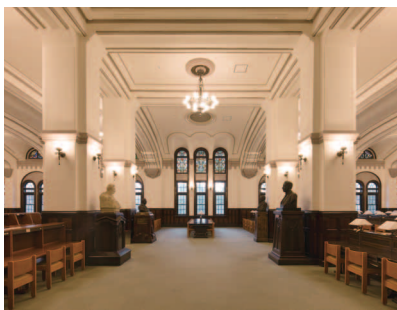
## 文理共創による新しい社会科学を創造 激動する現代社会の課題解決に挑む 世界最高水準の教育研究拠点

### 最先端研究の文理融合を推進 国際社会のリーダーを育成

一橋大学は伝統ある社会科学の総合大学です。グローバルに活躍する第一線の研究者がゼミナールをはじめとする少人数教育を通じて丁寧な教育を実践することで「Captains of Industry」の育成を続けています。近年は社会科学系唯一の指定国立大学法人として、コロナ禍を経た新しい時代をリードする「産業界のリーダー」の育成を見据えた文理融合を推進。外国人教員を含めた国際水準の優れた研究者を集めることにも力を入れるなど、世界をリードする教育研究拠点としての機能強化に取り組んでいます。

グローバル化とデジタル化が急速に進展する中で、異分野の研究者が文理の枠を超えて協働できる研究組織の整備も進んでいます。学長直属の部局横断型組織である社会科学高等研究院（HIAS）には、23年に脳科学研究センターと人新世研究センターを新設しました。両センターにおいては、それぞれ心理学や環境

経済などの分野で、社会科学の側面から文理共創の推進に取り組んでいます。最先端研究のさらなる活性化を目指すとともに、卓越した研究者集団が生み出す研究成果を学部教育へ還元することも重視しています。21年にスタートした四大学連合<sup>③</sup>（東京医科歯科大学・東京外国語大学・東京工業大学・一橋大学）による「ポストコロナ社会コンソーシアム」では、学際的・複合的な観点から新たな研究テーマの創発を目指す異分野融合イベントを開催。異分野の知識や発想、多様な視点に触れることで、さらなる文理融合研究を生み出す土壌の醸成を目的に、国際情勢、AI、フェイクニュース、ウェルビーイングなど、多彩なジャンルについて多角的な議論が展開されています。



附属図書館大閲覧室

### 「情報」と「デザイン」を連結し イノベーション人材を輩出

異分野融合型のプログラムとして商学部を設置された「データ・デザイン・プログラム（DDP）」は、技術とビジネスを「情報（データ）」と「デザイン」で連結できる、新しいタイプの「デザイン経営者」や「イノベーション人材」の育成・輩出を目指す選抜制の特別プログラムです。

「コンピュータ・サイエンス」と「デザイン思考」を融合した独自性の高いカリキュラムを特徴としており、「UX（User Experience）デザ

イン系」ビジネス・モデル・デザイン系「コンピュータ・サイエンス」プログラミン系」の各科目を留意。数理・統計系科目、知的財産法やメディア学などの他学部専門科目、芸術系大学や民間企業と連携した講義やプログラム、イノベーションやデザインの分野で先進的な海外大学への留学、といった多様な経験の機会を提供することで、グローバルに通用する人材の育成を目指しています。

本プログラムは商学部以外の学生も受け入れる学部横断型の構造で、2年生を対象に毎年約30人を選抜。4年生までの3カ年で構成されるプログラムの修了者にはサーティフィケート（修了証明書）が発行されます。

### 評価の高いグローバル教育 95%超の就職実績へ結実

一橋大学は「グローバル教育ポ

生、家族、団体といった校友からの寄付金を原資に運営されています。25年度からは新たに、学生支援の充実やタイパシリティ推進を目的とする「住まい支援制度」を創設。「女子学生」または「東京圏外出身者」の学部新入生を対象に入学から最長2年間、月額最大3万円まで指定民間物件の賃料を補助することで、学生の学びたいという気持ちに配慮します。

「国際情勢も激動しており、受験生の皆さんはさまざまな困難や将来に対する不安を抱えていることと思えますが、すべての学びが必ずや大きな糧となることを信じて頑張ってください。昨年度、72年ぶりの新学部も加わった私たち一橋大学は、皆さんをこの卓越した學術コミュニティに『未来創造の担い手』として迎える日を待っています」と、中野聡学長は受験生に向けて激励のメッセージを送っています。